

OMM JAPAN 2020 コースプランナーレポート

OMM JAPAN 2020 にご参加いただきありがとうございます。今年も OMM JAPAN が皆さんの挑戦心をくすぐるようなイベントになったのであれば嬉しく思います。また、多くのスタッフ・ボランティアの皆さんにフォローいただいたことにあらためて感謝いたします。

Straight 各コースの結果

日	コース	制限時間	ウイニング	想定 完走率	コース距離	想定 登距離	想定ルート 距離	距離+登 (L)	Top5 平均 (5)	Top5 pace=5/L	完走率	完走	失格
Day1	E	10h	5-5.5h	40-60%	18.3km	1690	27km	44	5:54:08	0:08:03	75%	30	10
	A	9h	4-4.5h	50-70%	13.2km	1310	20km	33	4:04:00	0:07:24	90%	66	7
	B	7h	3.5-4h	60-80%	9.9km	1110	16km	27	3:53:38	0:08:39	85%	56	10
Day2	E	10h	4.5-5h	40-60%	16.3km	1360	24km	37	6:44:52	0:10:57	36%	14	25
	A	9h	3.5-4h	50-70%	12.4km	960	18.5km	28	4:25:16	0:09:28	88%	63	9
	B	7h	3-3.5h	70-90%	9.6km	860	13km	22	3:23:04	0:09:27	81%	52	12

Score 各コースの結果

日	コース	制限時間	満点	想定優勝 得点率	Top5 平均	Top5 得点率	平均点	中央値
Day1	L	7h+1	600	60-70%	420	70%	207	230
	M	6h+0.5	500	60-70%	332	66%	203	200
Day2	L	6h+1	600	60-70%	384	64%	266	290
	M	5h+0.5	500	60-70%	420	84%	292	240

結果は表のとおりである。Straight に関しては、ウイニングタイムは A・B クラス共に概ね想定通りであったが、E クラスの 2 日目は想定を大きく超える結果になってしまった。完走率も E クラス 2 日目は完走率 36% と想定より低くなっている。

1 日目と比べて、ルート距離や登距離は抑えられていたが、道の使えない部分や藪の濃いエリアが多かったことが理由として挙げられる。また、それらに加えて尾根上の道の通行度が低かったのもあるだろう。

Score に関しては、上位 5 チームの平均得点率は、両クラスとも想定範囲内に収まった。

今回の範囲では、藪や斜面が厳しく通行困難な部分が多く、使えるエリアが限られていた。北側の栄村のエリアは比較的斜面もゆるく、植生も良い部分もあったのだが、距離的な制約から Straight の A、B、Score の Medium ではそこまで伸ばすことはできなかった。また、北側に下りるには県道か 4 つの尾根上の道しかなく、ルート選択も限定的なものになってしまった。

参加者の皆さんからの感想を聞くと皆第一声は「ヤブかった」であったが、苦しみながらも楽しかったとの言葉を多くいただいた。個人的には今回の藪は望むものではなかったが、参加者の皆さんに楽しんでいただけたのなら良かったのかもしれない。OMM は自然の中で行われ、開催地によって多様な植生や地形の特徴があり、それらによって求められる課題も変わってくる。事前に地形図などで予習をしておくことも重

要だろう。また、どんなフィールドであっても対応できるスキルを身に付けることももちろん必要だ。今後も OMM JAPAN は場所を変えて行われるが、次はどんなところかと楽しみにしていただき、また挑戦してほしい。

コースプランナー

谷川 友太